

平成 27 年 7 月 6 日

北海道農業者サロン
会員各位

北海道農業者サロン
理事長 喜多 俊晴

夏期研修会開催のお知らせ

とっても不安定な天候が続きます。

小生の江別 鶴見君仕立て苗 露地トマトも震え縮こまっています。

5 月 21 日付け夏期研修会案内後、詳細の連絡が遅れ申し訳ありません。

案内通り、下記のとおり研修会を実施します。

6 月の北海道庁の人事異動で多田輝美氏は農政部食の安全推進局長から同部生産振興局長に異動されました。

数回の打ち合わせで政府管掌作物、稲転作物への奨励・補助金等の廃止縮小後の政策的対応について盛り込んで北海道農業の展望を語っていただけたらと話しています。

念頭にあった大豆特例法が小規模農家を押し退けて、ひたすらな規模拡大と流通特性を高く見た一元的品種選定など、食糧基地北海道の位置付けだけが強調され、多様性を持った柔軟な小規模農業者の生きる道を閉ざすように見えて仕方なかったからです。

そして知事は、観光立国北海道、地産地消を語るのですから堪りません。

山形の蕎麦街道は村山市「でわかおり」、尾花沢市「最上早生」、大石町「来迎寺在来」とバラエティに富んだ品種を揃えているからこそ蕎麦愛好者の聖地となっているのです。

北海道の観光地がどこも「鮭」「帆立」「蟹」を定番としているのとは違います。地域の特性を配慮し小規模経営の農業者にこそ夢と奨励補助金が必要です。

春の芽出しに澱粉が糖に動く澱原品種「農林 1 号」こそ「よく寝た芋」「春堀り一番」として取り上げられ、新しい衣を着せなければならないものです。

ゆめぴりか、おぼろづき、きらら 397、特に泥炭地で良食味の「おぼろづき」は、石狩・上川、道東は〇〇〇、道南は〇〇〇〇〇〇など北海道米を割り振って観光客を飽きさせない配慮などが大切ですね。

これだけ牛がいる北海道、老廃牛はどこに行くのか。肥育素牛生産地に甘んじている不思議は理解できません。廃用雌牛は、安全性を考慮してどんと道内に放出して利用するのに税の投入があっても、安価な牛肉として還元されるなら道内消費者は歓迎すると思いませんか。

ロスケの鮭を買い、加工するくらいなら根室の水産業者に牛肉そぼろやコーンビーフを生産させロスケに輸出することまで考えた方がと思います。

中富良野 北川光夫氏の長卵形なす、種子なく甘い粘りの強い「あのみり」は美味しかったです。なすは長卵形が主流、丸なすの「大和なす」は身が締まりがよく、油が吸い難いことで 1 個 500 円になるとも聞きます。

少量でも将来性のあるもの、小さく基盤の弱い生産者にこそ奨励補助金を適用させなければ。どっぷり補助金を飲み込んだ大規模農業者は、いよいよその経営手腕が試されるのは当然です。

多田氏の講演は、美唄 内山君の言葉を借りて「今日 10 円より、明日の 100 円を！」としました。

(株)モスフードサービスの富尾泰正氏は北海道に片足を置いた活動と(株)モスフードサービス北海道事務所に籍を借り、千歳の自宅に帰りましたが、相変わらず全国区で走り回っています。

ミラノ万博は(株)モスフードサービスの一人勝ちの感じでした。

中国 20、台湾 239、香港 13、シンガポール 28、タイ 6、韓国 8、インドネシア 2、オーストラリア 5 などアジアに 321 店舗を展開する(株)モスフードサービスの欧州進出にチキン、海鮮かき揚げ、焼肉などのライスバーガーを持ち込み、とって賞賛を受けています。桜田厚社長の日本フードサービス協会長就任からミラノ万博日本館の運営までが(株)モスフードサービスの欧州進出に向けての戦略とするなら、まさに「してやったり！」の感じですね。このライスバーガー@1,620 で販売中です。外食チェーンにおける「イタリアの壁 - バール文化 (近くのバーで一杯)」を崩すことが出来たら凄いですね。

スターバックスは世界で 22,000 店舗でもイタリアは 0、ケンタッキーは 2 店舗、バースタイルを取り込んだマクドナルドは 550 店舗との事、日本でコツコツ、馬鹿高いトマトやレタスを集めている富尾氏にとっては別の会社の出来事かも知れません。道内での(株)モスフードサービスの活動を通じ外食企業の北海道への夢や農業者に対する要望などを語ってみたいと思います。

ちなみに結構タイにのめり込んでいる池田 鈴木君はタイが加工食品立国に賭けていることも知っておくべきです。

そう、ミラノ万博を仕切る CHSROEN POKPHAD 社【CP 製品】に注意を払う事です。

講演題目は、ちょっと長くレイモンド チャンドラーの言葉を借りて「30 フィート離れたところからはなかなかの女に見えた。10 フィート離れたところでは 30 フィート離れて見るべき女だった。」とします。

【多田輝美氏の略歴】

- 1958 年 札幌市出生
- 1981 年 帯広畜産大学 畜産学部 草地学科卒
- 1981 年 宗谷支庁農務課畜産係配属
北海道農政部酪農畜産課酪農振興係、大阪事務所高島屋派遣、
深川市派遣 (農政課主査)、留萌支庁産業振興部長、
農政部食品政策課参事、農業経営課長などを経て、
- 2013 年 農政部 食の安全推進局長
- 2015 年 農政部 生産振興局長で現在に至る

【富尾泰正氏の略歴】

- 1958 年 東京都出生
- 1981 年 酪農学園大学 酪農学科 家畜栄養研究室卒
- 1981 年 雪印種苗(株)入社
- 1984 年 農水省 畜産試験所 農業研修員 (養豚)
- 2000 年 (株)モスフードサービス入社
商品開発部 アグリ事業グループ シニアリーダー (北海道事務所)
で現在に至る

文責 田中 正夫

記

日時 平成27年7月13日(月)
13:00~19:30
13:00~ 受付開始

場所 札幌サンプラザ
札幌市北区北24条5丁目
Tel: 011-758-3111

あいさつ 13:10~13:30
北海道農業者サロン
理事長 喜多 俊晴 氏

講演

「30 フィート離れたところからはなかなかの女に見えた。
10 フィート離れたところでは30 フィート離れて見るべき女だった。」

13:30~15:30
(株)モスフードサービス
商品開発部
アグリ事業グループ
シニアリーダー
冨尾 泰正 氏

「今日の10円より。明日の100円を！」

15:45~17:45
北海道農政部 生産振興局長
多田 輝美 氏

交流会
(食事会) 18:00~19:30
※飲酒抜き

会費 5,000円
(研修会のみ参加の場合は2,000円)

以上

夏期研修会参加申込書
(該当する□へ✓をお願いします。)

■参加する

- 研修会のみ参加する
 研修会と交流会に参加する

参加会員名 : _____

同行参加者名 : _____

連絡先 : _____

参加しない

会員名 : _____

【7月8日（水）までに参加の有無を必ずご連絡ください。】

【お問合せ先】

北海道農業者サロン事務局／(株)イーストウエスト東京事務所
〒102-0075 東京都千代田区三番町 7-5-105
Tel:03-3288-1888／Fax : 03-3288-2555
e-mail : salon@eastwest-tokyo.co.jp

F A X 送信先 : 03-3288-2555
事務局 坂井あて